

硫黄島調査特別委員会速記録

平成25年6月13日（木曜日）午前11時開会

出席委員（7名）

委員長	一木重夫君	副委員長	片股敬昌君
委員	高橋研史君	委員	鯨江満君
委員	杉田一男君	委員	池田望君
委員	稲垣勇君		

委員外出席議員（1名）

議長	佐々木幸美君
----	--------

出席説明員

村長	森下一男君	副村長	石田和彦君
教育長	伊藤直樹君	総務課長	江尻康弘君
総務課副参事	鈴木敏之君	総務課企画政策室長	樋口博君
財政課長	今野満君	村民課長	斎藤実君
村民課副参事	村井達人君	医療課長	佐々木英樹君
産業観光課長	渋谷正昭君	自然管理委員	岩本誠君
建設水道課長	篠田千鶴男君	建設水道課副参事	増山一清君
母島支所長	箭内浩彌君	出納課長	菊池元弘君
教育課長	牛島康博君		

事務局職員出席者

事務局長	セーボレー孝君	書記	菊池ひろみ君
------	---------	----	--------

議事日程

- 日程第1 NLPを含むFCLP（空母艦載機着陸訓練）について（経過説明）
- 日程第2 遺骨帰還事業について（経過説明）
- 日程第3 訓練について
- 日程第4 墓参及び慰霊巡拝について
- 日程第5 硫黄島訪島事業について
- 日程第6 その他
- 日程第7 閉会中の継続調査について

◎開会の宣告

○委員長（一木重夫君） ただいまから硫黄島調査特別委員会を開会します。

出席委員が定足数に達しておりますので、本日の会議を開きます。

（午前11時）

◎会議時間の延長

○委員長（一木重夫君） あらかじめ会議時間の延長をしておきます。

◎NLPを含むFCLP（空母艦載機着陸訓練）について（経過説明）

○委員長（一木重夫君） それでは、本日の議題に入ります。

日程第1、NLPを含むFCLP（空母艦載機着陸訓練）について、執行部から報告を求めます。

総務課長、江尻君。

○総務課長（江尻康弘君） ご説明いたします。

NLPを含むFCLP（空母艦載機着陸訓練）については、訓練期間を平成25年6月1日から6月14日と、この期間におきまして今、現在訓練を実施中でございます。

以上でございます。

○委員長（一木重夫君） ただいまの報告について、質疑、意見のある委員は挙手をしてください。

片股副委員長。

○副委員長（片股敬昌君） 先日、アメリカと中国との会談がありましたね。日本の安倍総理とアメリカの大統領との会談と時間を比較して、圧倒的に中国の習近平さんが歓迎されたということで、中国のマスコミで大きく取り上げられておりました。アメリカの外交は日本よりも中国に力を入れているのではないかとということで、かなり取り上げられていたようです。

その直後に、日米で島奪還の訓練が行われたということで、また中国も変わった情報が流れておりますけれども、こういった尖閣諸島をめぐる緊迫した情勢の中で、日米のいろんな訓練がされておりますが、この硫黄島におきましてもそういう緊迫した状況の中で、まず重要な拠点になっていると思うんですね。

そういう訓練を通じる中で、村長、どんな考えでこういう訓練を見つめておられるのか、もしありましたら、お願いします。

○委員長（一木重夫君） 村長、森下君。

○村長（森下一男君） 村の基本的な考えといいますのは、日本国の我が国の国防に対して協力をするというのが、まず、基本姿勢でございます。硫黄島の訓練、それから基地化ということに対しましては、いまだに硫黄島に旧島民が帰島できないこと、それからいまだに遺骨収容をしていること等々から、我が国の防衛施策に協力はするものの、今、以上の訓練の拡大、また基地化は望んでいないというのが村の基本姿勢でございます。

私もその立場を踏襲するものでございます。とはいえ、旧島民の皆様のご理解をいただきながら、現在、相当な訓練を、硫黄島でしかできないような訓練がございまして、それに関しましては協力をさせていただいているというふうに思っております。

○委員長（一木重夫君） その他、ございませんか。

（発言する者なし）

○委員長（一木重夫君） そうしたら、私のほうから一つ、村長に質問があります。

厚木基地騒音対策協議会という厚木基地に関係する市町村、9つの市とあと県の協議会があるんですけども、そこで毎年、このNLPについての要請書というのをを出していただいて、その中で、NLPの訓練を全て硫黄島でやってくれという部分ともう1点、通常の訓練、厚木基地で行われている通常の訓練も全て硫黄島でやってほしいという、そういう要請書を毎年、この協議会が出しています。そのことについて、村長のお考えを伺いたいと思います。

村長、森下君。

○村長（森下一男君） 厚木基地騒音対策協議会がそのようなことを毎年出しているということについては、私も承知おきをしております。

先ほど片股委員の質問にもございましたけれども、硫黄島で暫定という条件でNLPの訓練を受け入れておりますのは、そういう騒音で悩まされている基地周辺の皆様に、硫黄島でやることによって、幾らかでもそういう寄与ができればという私どもの考えがございまして、硫黄島旧島民の皆様もそういうことを背景にご理解をいただいているというところでございます。

厚木基地周辺の皆様が騒音で悩まれているので、自分のところではなくどこかに持ってほしいという、この気持ちは私も理解ができます。しかしながら、事、硫黄島という

ことを直接名指しという形で言われますことにつきましては、今申し上げているように暫定ということではありますけれども、私どももそれなりに皆様に寄与するという気持ちで今受け入れをしておりますので、まず、在日米軍等との在日米軍の再編の協議が平成18年にありまして、このいわゆる基地の問題につきましては、ロードマップが書かれているわけですが、なかなかそれが進んでいかないと、いつぞや話題にも出ました馬毛島の話もございませぬ。

ですから、国に対してそういうことをきちんとやってくれよ、それまで硫黄島でというお気持ちは理解できますが、少なくともそういうことを、こういう文書とか正式なことで要望される場合、本村に一言、ご連絡があつてしかるべきではないかなというのが私の思いでございまして、やはりその点については、遺憾の意はそういう意味で、何らかの形でお伝えをすべきだろうと、こう思っております。

直近で今月の27日に全国基地協議会、私も久しぶりにここに参加ができる見通しでありますので、お会いできて、そういうことがお伝えできれば、まずはいいかなというふうに思っております。

○委員長（一木重夫君） その他、ございませぬか。

（発言する者なし）

○委員長（一木重夫君） 質疑がないようですので、これにて質疑を終了します。これにご異議ございませぬか。

（「異議なし」との声あり）

◎遺骨帰還事業について（経過説明）

○委員長（一木重夫君） 次に、日程第2、遺骨帰還事業について、執行部から報告を求めます。

総務課長、江尻君。

○総務課長（江尻康弘君） 遺骨帰還事業につきましての経過等、説明をさせていただきます。

最初に、納骨でございます。平成25年5月27日、千鳥ヶ淵戦没者墓苑にて礼拝式が行われております。

続きまして、開削調査、面的調査の立ち会いの予定でございます。

第1回、平成25年5月下旬に実施予定だったものが、中止になってございます。第2回は、7月16日から7月24日実施の予定がございます。第3回が、8月の中旬、第4回が9月の

下旬、それぞれ実施予定でございます。

次に、遺骨の収容の実施でございます。

通常派遣、第1回が平成25年4月8日から4月19日に実施をされております。収容柱数は5柱ございました。小笠原村及び小笠原村在住硫黄島旧島民の会より5名が参加しております。この期間中の4月14日でございますが、安倍総理大臣一行が硫黄島を訪問され、遺骨収容の現場の視察をしております。

第2回から第4回、予定されておりました事業につきましては、硫黄島の雨量が少なく湧水の心配がございますことから中止になっております。第5回につきましては、6月24日から7月2日にかけて実施予定でございます。

次に、特別派遣でございます。

平成25年7月9日から7月17日までが第1回、8月27日から9月4日までが第2回として実施予定でございます。

説明につきましては以上でございます。

○委員長（一木重夫君） ただいまの報告、説明について、質疑、意見のある委員は挙手をしてください。

高橋研史委員。

○委員（高橋研史君） ただいま総務課長から説明がありましたけれども、4月14日、皆様ご存じのとおり、安倍総理大臣が硫黄島に立ち寄り視察をして、小笠原村父島にもお越しいただきました。硫黄島に立ち寄った際に、総理は、最後、あそこを飛び立つ前に、背広を着たまま滑走路にひざまずいて、あそこに眠る英霊を一日も早く本土に帰してあげたいという思いを、そのまま滑走路に膝をついて伝えたと言われております。その画像も結構出回っておりまして、国内においては拍手喝采がかなり起きているようです。

これに伴い、政府の中で、各省庁をまとめて一本化して、政治主導であそこの滑走路下にある遺骨を収容しようという動きがスタートいたしました。きっと、年を重ねるごとに、あそこの収容が進んでいくと思うんですけども、村長は、これらの国の動きにどのような、今、期待を抱いているか。そして、今後、遺骨収容、国のほうにますます進めていただきたいというお気持ちはあると思いますけれども、今のこのような状況をどのようにとらえているのか、村長の口からひとつお願いいたします。

○委員長（一木重夫君） 村長、森下君。

○村長（森下一男君） 硫黄島での遺骨収容に関しましては、私もみずから収容隊で参加した

こともございまして、滑走路下には今まで手をつけずに来たところでもございましたので、滑走路下には多くの遺骨があるのではないかとというのが、遺族の皆さんの思いでございまして、直近では福田総理大臣のときに直接総理にお会いしまして、滑走路下の遺骨収容についてのお願いもしてきたところでございます。

今、高橋委員がおっしゃいましたように、特に滑走路下をやるとなりますと、これは省庁を飛び越えて内閣としてやっていただかなければならないということで、先般、安倍総理が硫黄島を訪れて帰られた後、滑走路下の遺骨収容についてもそういう検討がなされると、新聞報道はちょっと先走った感があつて、来年度からというような計画というようなことがありましたが、新藤総務大臣に伺いましたところ、きちんとそういう話は進んでいるということでございますので、私だけではなくて遺族の皆さん、そして今までご尽力されていた方も愁眉が開けたというふうに感じているところだと、そのように思っております。

○委員長（一木重夫君） その他、ございませんか。

（発言する者なし）

○委員長（一木重夫君） 質疑がもうないので、これにて質疑を終了します。これにご異議ございませんか。

（「異議なし」との声あり）

○委員長（一木重夫君） 異議なしと認めます。

◎訓練について

○委員長（一木重夫君） 次に、日程第3、硫黄島における訓練について、執行部から報告を求めます。

総務課長、江尻君。

○総務課長（江尻康弘君） それでは、訓練につきまして、説明をさせていただきます。

最初に、硫黄島掃海訓練及びエアクッション艇訓練についてでございます。

掃海訓練につきましては、平成25年6月20日から6月29日に実施予定でございます。これに先立ちまして、掃海母艦うらが他、掃海艦艇6隻は二見港に17日の午後入港、19日の夕方出港の予定でございます。

次に、エアクッション艇訓練でございます。

この訓練につきましては、7月28日から8月2日、9月18日から9月23日、10月27日から10月31日、12月11日から12月13日、4回の実施予定がございます。

次に、平成25年度訓練計画、硫黄島航空基地でございます。

ヘリコプターを使用いたしました陸上での救助訓練、物量吊下飛行訓練等も含むを、今年度につきましては月に約4回実施予定でございます。通年を通して月、約4回の実施予定でございます。1回当たりに要する時間は約20分と聞いております。

説明につきましては以上でございます。

○委員長（一木重夫君） ただいまの報告、説明について、質疑、意見のある委員は挙手をしてください。

（発言する者なし）

○委員長（一木重夫君） ございませんか。

（発言する者なし）

○委員長（一木重夫君） 質疑がないようですので、これにて質疑を終了します。これにご異議ございませんか。

（「異議なし」との声あり）

○委員長（一木重夫君） 異議なしと認めます。

◎墓参及び慰霊巡拝について

○委員長（一木重夫君） 次に、日程第4、墓参及び慰霊巡拝について、執行部から報告を求めます。

総務課長、江尻君。

○総務課長（江尻康弘君） 墓参及び慰霊巡拝につきましての説明をさせていただきます。

最初に、硫黄島及び北硫黄島旧島民の墓参について、これは東京都の主催でございます。昨年度事業につきましての報告が済んでおりませんので、平成25年3月15日に実施されました東京都主催の墓参は、参加者70名ということでございました。小笠原村及び小笠原村在住硫黄島旧島民の会より5名が参加しております。

次に、厚生労働省主催の硫黄島の慰霊巡拝でございますが、今年度は、第1次が7月2日、第2次が11月13日、第3次が2月26日実施予定でございます。

報告につきましては以上でございます。

○委員長（一木重夫君） ただいまの報告、説明について、質疑、意見のある委員は挙手をしてください。

鯉江 満委員。

○委員（鯉江 満君） この東京都主催の参加者70名というんですけれども、これは輸送機か何かで飛行機で行っているんですか。

○委員長（一木重夫君） 総務課長、江尻君。

○総務課長（江尻康弘君） 飛行機を利用して硫黄島のほうに行っております。小笠原村から5名参加とご報告させていただいておりますけれども、この5名につきましては、ヘリコプターで硫黄島のほうに移動しております。

○委員長（一木重夫君） その他、ございますか。

佐々木幸美議長。

○議長（佐々木幸美君） ちょっとお聞きしたいんですけれども、この厚生労働省の慰霊巡拝ですけれども、これはどういう形で、例えば人選の問題とか、それから硫黄島に渡る渡航の問題とか、その辺のところは東京都とどのように違うのか、もしわかったら教えてほしいんですけれども。

○委員長（一木重夫君） 総務課長、江尻君。

○総務課長（江尻康弘君） すみません、今、詳細な資料がないんですけれども、硫黄島の関係者ということで、募集という形で実施をしていたと記憶をしています。

○委員長（一木重夫君） 補足で、村長、森下君。

○村長（森下一男君） 東京都のほうにつきましては、まず、対象が旧島民ということだと思います。それで、厚生労働省につきましては、遺族会に入っているというのが私の記憶でございまして、詳細につきましてはまた調べさせますけれども、その違いが都の墓参のほうと厚生労働省でやります慰霊巡拝とは変わってきていると思います。

硫黄島の島内を歩きますと石道標ってありますよね、各部隊があった跡にという。こちらのほう、ご遺族に対応しているのは厚生労働省のほうが対応していますので、その分、回数も恐らく多いということであろうかと思えます。

○委員長（一木重夫君） 佐々木幸美議長。

○議長（佐々木幸美君） 詳しいことはわからないということですが、これやっぱり飛行機をチャーターして、それで人員を一応決めてくるわけですか。

（「民間機」との声あり）

○議長（佐々木幸美君） もちろん民間機ですけれども。

（「今、民間機だそうです」との声あり）

○議長（佐々木幸美君） 定員とか、そういうのは、後で結構ですから、わかりましたら。

(「いいですか、後で」との声あり)

○委員長(一木重夫君) では、後ほどよろしいですか。

そのほか、ございませんか。

(発言する者なし)

○委員長(一木重夫君) 質疑がもうないようですので、これにて質疑を終了します。これにご異議ありませんか。

(「異議なし」との声あり)

○委員長(一木重夫君) 異議なしと認めます。

◎硫黄島訪島事業について

○委員長(一木重夫君) 次に、日程第5、硫黄島訪島事業について、執行部から報告を求めます。

総務課長、江尻君。

○総務課長(江尻康弘君) 硫黄島訪島事業につきましての説明をさせていただきます。

今年度の訪島事業につきましては、あす、6月14日から6月17日までの予定で実施をいたします。台風等の関係で心配ございましたけれども、本日、10時におがさわら丸は竹芝を出航したと聞いております。内地からの参加者、それからこちら父島、母島島内からの参加者を含めまして、約150名が参加予定をしております。

説明につきましては以上でございます。

○委員長(一木重夫君) ただいまの報告、説明について、質疑、意見のある委員は挙手をしてください。

(発言する者なし)

○委員長(一木重夫君) ございませんか。

(発言する者なし)

○委員長(一木重夫君) 質疑がもうないようですので、これにて質疑を終了します。これにご異議ありませんか。

(「異議なし」との声あり)

◎その他

○委員長(一木重夫君) 次に、日程第6、その他事項として、執行部から報告を求めます。

総務課長、江尻君。

○総務課長（江尻康弘君） それでは、その他といたしまして、硫黄島旧島民平和祈念公園管理事業についての説明をさせていただきます。

最初に、平成24年度の事業でございますけども、平成24年度の6回目の公園管理事業が、3月22日から3月25日にかけて実施されております。小笠原村及び小笠原村在住硫黄島旧島民の会より5名が参加いたしました。

続きまして、今年度、平成25年度第1回の公園管理事業でございますが、6月7日から6月17日まで、現在実施中でございます。小笠原村及び小笠原村在住硫黄島旧島民の会より6名が参加中でございます。

説明につきましては以上でございます。

○委員長（一木重夫君） ただいまの報告、説明について、質疑、意見のある委員は挙手をしてください。

（発言する者なし）

○委員長（一木重夫君） ございませんか。

（発言する者なし）

○委員長（一木重夫君） 質疑がないようですので、これにて質疑を終了します。これにご異議ございませんか。

（「異議なし」との声あり）

○委員長（一木重夫君） そのほかで、硫黄島に関する事で、委員の方から何かございますか。

（発言する者なし）

○委員長（一木重夫君） ありませんね。

質疑がないようですので、これにて質疑を終了します。これにご異議ございませんか。

（「異議なし」との声あり）

○委員長（一木重夫君） 異議なしと認めます。

◎閉会中の継続調査について

○委員長（一木重夫君） 次に、日程第7、本委員会の閉会中の継続調査についてお諮りします。

お手元に配付の事件調査のため、閉会中の継続調査の申し出をしたいと思います。これ

にご異議ございませんか。

(「異議なし」との声あり)

○委員長(一木重夫君) 異議なしと認めます。

よって、閉会中の継続調査を申し出ることにより決定いたしました。

◎閉会の宣告

○委員長(一木重夫君) お諮りします。

本日の議題は終了しましたので、これをもって本委員会を終了いたしたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

(「異議なし」との声あり)

○委員長(一木重夫君) 異議なしと認めます。

よって、本日の委員会を閉じます。

これをもちまして、硫黄島調査特別委員会を閉会します。

お疲れさまでした。

(午前11時25分)